

経営比較分析表（令和4年度決算）

富山県富山市 富山市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員 その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	35	対象	ド透I訓方	救護が感災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
409,075	43,430	非該当	非該当	7：1

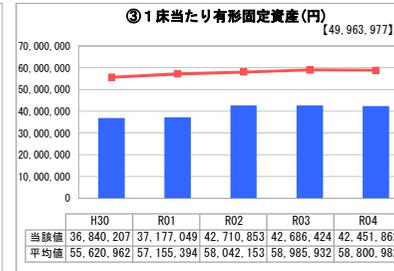
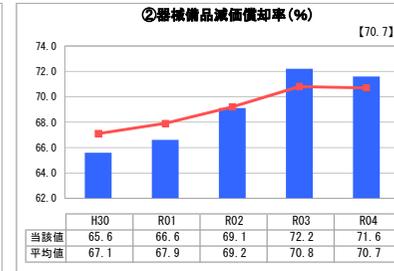
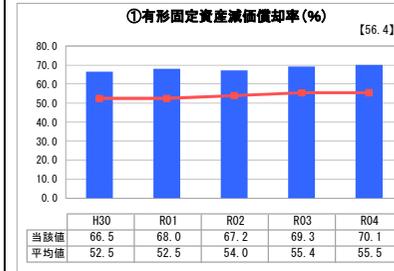
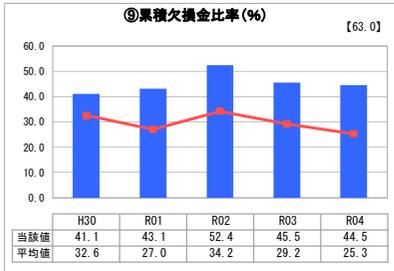
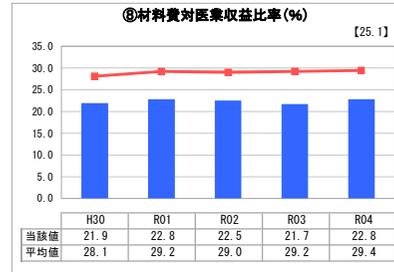
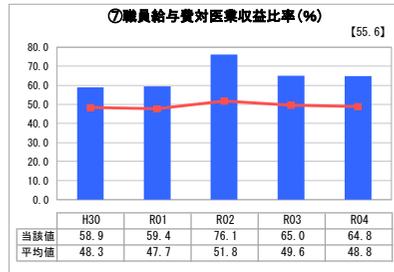
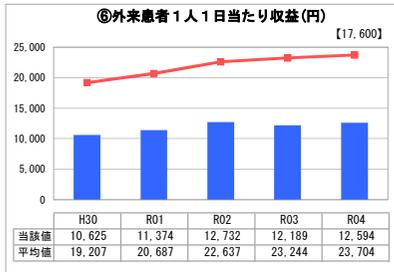
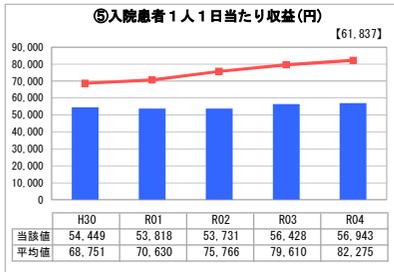
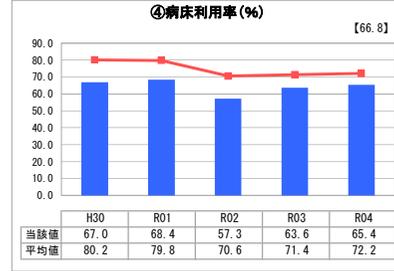
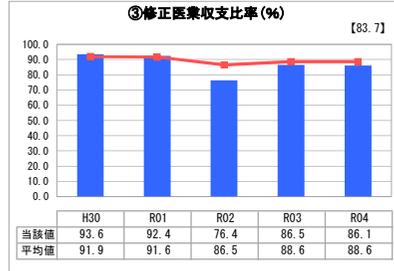
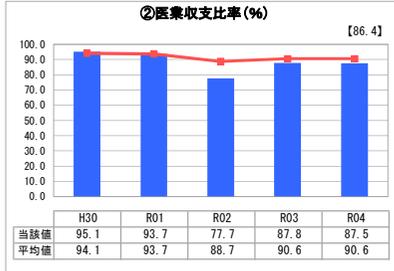
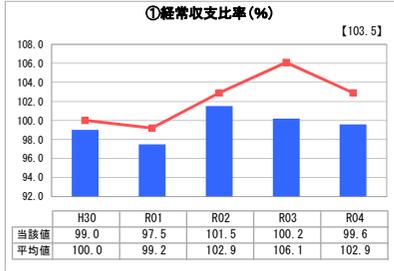
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
489	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
50	6	545
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
442	-	442

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）		
機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

高度急性期及び急性期医療を担う中核病院として、高度で専門的な医療を提供することに加え、公的病院として、大規模災害時に迅速に傷病者を受け入れるほか、第二種感染症指定医療機関として、感染症患者を受け入れ、良質で適切な医療を提供する役割も担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率、医業収支比率及び病床利用率は類似病院の平均値を下回り、累積欠損金比率は高い値となっている。これは、R2年度に新型コロナウイルス感染症の影響により患者数が大幅に減少してから、従来並の患者数に戻っていないことが要因である。今後は、救急・紹介患者の積極的な受入を更に推進する等、入院患者数を増やすための取組みを行い、黒字幅の増を目指す。
材料費対医業収益比率は、後発医薬品の採用拡大に取り組んでいることなどから低く抑えられているものの、入院・外来の患者1人1日当たりの収益が類似病院平均値と比べて低く、また、職員給与と費対医業収益比率も高くなっていることから、収益増加に向けた経営改善が必要となる。

2. 老朽化の状況について

有形資産の減価償却率が類似病院平均値と比べて高く、老朽化が進んでいると見える。
実際に、建設から39年が経過し、施設・設備等の老朽化が著しくなっていることから、患者の利便性向上や老朽化への対応を目的として、これまで機械改修や外来改修等を行ってきた。
今後も、病院機能を維持・向上させるための改修工事や設備機器の更新等について、病院のビジョンや中長期的な経営状況、費用対効果等を考慮しながら検討していく予定である。

全体総括

R4年度においては、医業収益がR元年度並の水準までには回復せず、新型コロナウイルス感染症関連補助金の縮小による医業外収益の減が影響し、決算は44百万円余りの赤字となった。今後は、新規患者を受け入れて増収につなげることに加え、毎年増加し続けている給与費や経費を見直して圧縮するなど、徹底的・抜本的な経営見直しを図る必要がある。また、市民に「選ばれる病院」として、ソフト面からも当院の魅力を高めていく必要がある。また、富山医療圏における急性期病院として、医療体制のさらなる強化を図り、質の高い医療の提供に努めていく。

※ 1 類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。